

見附市図書館だより

# 万華鏡 第25号

平成24年1月20日発行

編集発行 見附市図書館 (TEL 62-3759)

指定管理者 NPO法人見附地域情報研究会



『プロティ』  
佐伯 一麦 著 集英社



『人質の朗読会』  
小川 洋子 著 中央公論新社



『みをつくし料理帖』シリーズ(既刊6冊)  
高田 郁著 角川春樹事務所



『ミズクと夜の王』  
紅玉 いづき著  
メディアワークス



『ゴーストハント』シリーズ(全7巻)  
小野 不由美著 メディアファクトリー

## 図書館で出会った お気に入りの本

最近読まれた本の中からお気に入りの小説を、図書館をご利用の方々から紹介していただきました。自分の手に取らない著者やジャンルの本など、新しい年、新たな読書のきっかけに、あなたもぜひこの本を読んでみませんか？

### \* 図書館休館日

1月23・30日 2月6～12(蔵書点検のため)・20・27日 3月5・9・12・19・26日

### \* 学習コーナーの臨時休館(書庫開放のため、学習コーナーは利用できません)

1月29日 2月26日 3月25日

# 図書館で出会ったお気に入りの本

『ピロティ』 佐伯一麦著

小川 春子

図書館にはいろいろな本が揃い、恥ずかしながら私にとって知らない作家が実に多い。最近『ピロティ』という書名の本を借りた。作家は勿論、ピロティというカタカナの意味も知らず何故か読みたい衝動にかられた。

引退を控えたあるマンションの管理人が、間もなく自分に代わってその仕事に従事することになるだろう彼に仕事のノウハウを教えるという、ただそれだけの話なのである。

一人称で語る元管理人の語り口は優しく人間味溢れ読む者を穏やかに包む。日常のごくありふれた生活の、誰もが思い味わったことのある余りにも地味で気づかない出来事や当たり前のことが管理人の口から少しも厭味なく発せられる。セリフは可笑しくもあるが内容は真面目だ。欲をいえば少し飽きるかも知れない。管理人という職業をこなせるには彼のような人間が相応しいのか、或いは職業がそういう人間にさせてしまうのか、どうだろう。

お勧めの娯楽小説

大懸 朋雪

○「ゴーストハント」シリーズ 全7巻

小野 不由美著

ホラー小説です。著者が新人時代に少女向けの文庫に書いたものを、今回全面的に書き改めたものです。毎回違うタイプの怪異が登場する意欲作です。

○「みをつくし料理帖」シリーズ

『心星ひとつ』『小夜しくれ』ほか既刊6冊

高田 郁著

時代小説ですが、時代小説ファンでない方が読んでも、たぶんおもしろいです。著者はレディースコミックの原作もやっておられるそうです。本作のページをめくる手を止めさせないストーリー展開は、そういう場で鍛えられたのではないのでしょうか。

『ミミズクと夜の王』

紅玉 いづき著

少し前のライトノベルです。子供向きと侮るなかれ。泣けるお話です。

『人質の朗読会』 小川 洋子著

H・S (上新田町)

地球の裏側、異国の小さな村で、日本人観光客8人を乗せたバスが、反政府ゲリラの人質となる。100日以上もの膠着状態が続く、人々の記憶から事件のことが消えかけた頃、犯人の仕掛けたダイナマイトが爆発し、人質全員が死亡。後に、特殊部隊が仕掛けた盗聴器から、人質たちの体験を語る朗読会の様子がラジオで流れる……。

派手なプロットではないが独特の静謐な空気がひたひたと流れてくる。日常と非日常、意識と無意識、人間の表層の悩みと深層世界の混沌を言葉に託し物語を作り上げている小川洋子ワールドは魅力的だ。また装丁も本にひっそりと寄り添った佇まいで素敵。



# 見附染織サークル

新春作品展 開催しています！

期間 1月4日(水)～2月5日(日)  
場所 図書館閲覧室

新春作品展に寄せて

見附染織サークル

私たち見附染織サークルは、資料館で開催された講座の受講生を中心に、平成16年から活動をしている9名のサークルです。

毎週日曜日、北谷公民館で、自分で糸を染めたり、市内のニットや織物の残糸を利用しながら、花瓶敷きやカバンなどの実用品から、市展出品の作品制作を中心に活動しています。

一段一段織っていく根気の要る作業ですが、自分で織り成す色合いの拡がりに引かれ、見附の伝統である織物を伝えていければと思っています。

この新春作品展で、そんな作品の一部をご覧いただければと思います。



いつもありがとうございます！

読み聞かせボランティア「おはなしの旅」

教育サックス賞受賞



見附市の教育文化活動に尽力され教育の向上に寄与された方に教育委員会より贈られる今年度の「教育サックス賞」を、読み聞かせボランティアサークル「おはなしの旅」の皆さんが受賞されました。

「おはなしの旅」は平成10年から活動を始め10名の会員で毎週木曜日図書館で開催する「おはなしのじかん」を中心に、市内保育園や子育て支援センターなどで絵本の読み聞かせをおこない、子どもたちに絵本の魅力を伝えています。

# インフォメーション

## 蔵書点検のお知らせ

**2月6日(月)～12日(日)まで休館します**

館内の資料約18万冊をすべて確認します。ご不便をおかけしますが、  
よろしく願いいたします。また、長期休館になりますので

**1月24日(火)～2月5日(日)までの間、貸出冊数を20冊まで**とします。  
是非、ご利用ください!

ご自宅に、返却忘れの本はありませんか。この期間中もブックポストで  
24時間返却ができます。ご利用ください。

\*CDは破損の恐れがあります。ブックポストではなく、カウンターにお返してください。

## 参加者募集！読み聞かせボランティア養成講座

日時 2月25日(土)・3月10日(土)・3月24日(土)

いずれも 午前10時～11時30分

定員 10名

申込み 2月23日(木)までに電話(62-3759)またはカウンターまで

土曜日に図書館で読み聞かせをしてみませんか。ボランティアを始めたい方を  
対象に講座を開催します。絵本を読む楽しさを味わってみませんか。  
男の方もぜひどうぞ。

## 書庫開放

日時 1月29日(日) 2月26日(日) 3月25日(日)

いずれも午前9時30分～午後5時

図書館2階にある書庫の文学書(一般)26,500冊を一般開放します。  
その場(2階)で貸出も行いますので、ご利用ください。



## 映画鑑賞会

日時 1月29日(日)上映作品 「男はつらいよ 寅次郎と殿様」

“とらや”の面々とケンカをした寅次郎は愛媛へ。そこで墓参りをする美しい未亡人と出会い  
慕情が募る。そこへ大洲城18代目の城主だという老人が登場し…。

2月26日(日)上映作品 「動乱」

五・一五事件から二・二六事件までの風雲急を告げる昭和を生きた寡黙な青年将校とその妻  
の愛を壮大なスケールで描く感動の一大叙事詩。高倉健と吉永小百合の2大スター初共演。

3月25日(日)上映作品 「八子公物語」

東京の大学教授の家に贈られ八子公と名付けられた子犬は、教授を渋谷駅まで送り迎えするの  
が日課。しかし教授は病気で帰らぬ人に…八子は雨の日も風の日も駅で教授の帰りを待つ…。

いずれも、時間は午後1時30分から、会場は2階視聴覚室です。入場無料。

事前申込みも不要です。ぜひ、お越しください。

主催 見附シネマ倶楽部 見附市図書館